

サービス改善計画書

策定日：令和7年1月27日

事業・サービス名：幼保連携型認定こども園

施設・事業所名：一里山ひかりこども園

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考（必要な予算等）
(6)	a	指導案作成時、各年齢の繋がりが単年度で切れている。	指導案を作成するときには子どもの発達や成長をしっかりと見据えた上で繋がりのあるものにしていく。	今期を振り返りつつ 令和7年より	保育教育内容サービス検討委員会	無
(8)	a	保育について考えたり、話し合ったりする時間が少ない。 保育の質の向上に向けて職員がさらに学ぶことが大切だと感じる。現状学びの機会が少ないと感じる。	保育の内容と安全管理、保健衛生等、様々なことについて職員間で更なる話し合いを重ね、共通理解をしっかりと図れるようにする。園内のオンライン会議等も検討し必要な時間を作っていく。 キャリアアップやスキルアップのための学びを更に取り入れていきたい。学びの機会を増やすため、研修等で学んだ内容を全職員が共有できるよう、一層の工夫を図る。	令和7年より	委員会のリーダー	無（必要があれば）
(47)	a	2階のトイレが汚れていることがある。保護者からも意見・要望を頂いた。	美化委員会を中心にトイレ掃除の見直しを行い定期的に拭いたり、チェックをしたりと掃除の内容、回数を見直しを行った。	令和6年下期より	美化委員会	有 トイレグッズ、拭き取りウエットティッシュ等の備品を購入して常備

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考（必要な予算等）
(50)	a	夏のシャワー時、子どもの裸（プライベートゾーン）が見えている。園外の方が来られることもあるので配慮が必要。	子どもたちが快適にかつ大切に使用し、気持ちよく過ごせるよう清潔に保っていく。 衝立を設置し、子ども達にもプライベートゾーンの話をしていく。 子どもの安全に配慮しつつ、写真撮影等にも注意を払う。	令和7年より	保育教育内容サービス検討委員会と特別チーム	無
(55)	a	延長保育の子の保育時間が長くなっている。飽きずに遊べる環境が作れていない。	延長保育の子どもが飽きずに楽しく過ごせるよう、環境・玩具の見直しを図る。	令和7年より	保育環境委員会	有 （必要玩具の購入と製作を検討）
(61)	a	給食の献立がマンネリ化している。給食の献立名を見て子どもたちが野菜をイメージしにくい。 中国産でなく日本産の安全な食材を使用してほしい。	新しく、食べやすいメニューを考えていく。給食の献立に出てくる野菜を写真に撮ったり、触れたりできるようにしてみる。 できる限り日本産を使用し安全で美味しい給食を提供できるようにしていきたい。	令和7年すぐに	給食委員会 園長	有